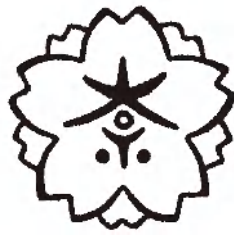


奈良市の健康医療

平成31年度・令和元年度版



奈良市健康医療部

はじめに

2019（平成31・令和元）年度版の「奈良市の健康医療」をお届けします。今年度はこれまでの「保健所事業概況」を改め、市立奈良病院や、本市の地域医療についても新たに記載し、健康医療部全体の紹介をすることに致しました。また、今回は別途当部各課のトピックス的な取組をまとめ、「ダイジェスト」として市のホームページに掲載いたしましたので、ぜひご覧ください。今後、工夫を重ね、「奈良市の健康医療」が市民の方々に役立つ、より up-to-date なものとなるよう努めてまいります。

近年、日本を訪れる外国人観光客が増加しています。それにより、日本でも民泊のニーズが高まり、昨年6月から「住宅宿泊事業法」が施行されました。国際文化観光都市である本市でも民泊事業を促進する一方、住宅地において、市民の方々の生活環境が悪化することはあってはなりません。本市として、民泊事業の区域や営業期間を限定する条例を定め、これにより、民泊宿泊者数の増加と住民の生活環境保全の双方を達成できると考えています。

さて、東京オリンピック・パラリンピックを契機として、望まない受動喫煙を防止するため健康増進法が改正されました。これを受け、本市は7月から市役所庁舎等、全市有施設を敷地内禁煙とし、また、来年4月からは市内飲食店等へ受動喫煙防止対策が拡張されます。多くの市民の方々の力を集めながら取組んで参ります。

奈良市食育推進会議は市内50余りの関係団体から構成され、これまで本市の食育活動を支え、さらに推進して参りました。今般、その活動が認められ、農林水産省消費・安全局長表彰に輝きました。食育の業務は今年度の組織改革により、観光経済部へ移行しましたが、ここで披露させていただきます。

令和の時代を迎え、健康医療部として市民の暮らしに結び付いた保健医療業務に取り組んで参ることをお伝えし、結びと致します。

2019（令和元）年12月

奈良市健康医療部長

（保健所長事務取扱）

佐藤敏行